



1. 豊田PCB廃棄物処理施設 PCB液処理設備について

PCB液処理設備では、PCBを含んだトランス油、コンデンサ油等は種類ごとに受け入れ、PCBに鉱物油を加えて、液中の塩素濃度を21.5%になるように調整した後に、PCB脱塩素化分解設備に送り、無害化処理を行っています。

※PCB脱塩素化分解設備については、No.101の「1. 豊田PCB廃棄物処理施設のPCB無害化処理方法」を、PCBとTCBの分離方法についてはNo.109の「1. 豊田PCB廃棄物処理施設 蒸留設備について」をご参照ください。

参照URL: <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/topics.html>

■コンデンサ油受入設備



PCB抜き取り

本体に穴を開けて抜油管を挿入し、コンデンサ油を抜き取る。



抜油受槽

抜き取った油を受け入れる。



塩素濃度調整槽

PCBに含まれる塩素の濃度を21.5%に調整する。

■トランス油受入設備



PCB抜き取り

所定のプラグに抜油管を挿入し、トランス油を抜き取る。



抜油受槽

抜き取った油を受け入れる。この後にPCBとTCBを分離する。



塩素濃度調整槽

PCBに含まれる塩素の濃度を21.5%に調整する。

2. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況についてのご報告

25年6月の処理台数

平成25年6月の処理実績は右表のとおりです。
安全かつ確実な処理を継続していきます。

種 別		処理台数
コンデンサ類		550 台
トランス類	大 型	3 台
	小 型	16 台
	車 載 型	4 台
廃PCB等		16 本
保管容器		4 個

3. PCB廃棄物処理事業検討委員会作業安全衛生部会の開催

●開催の目的

6月22日に豊田施設においてPCB廃棄物処理事業検討委員会作業安全衛生部会(以下「部会」という。)を開催しました。

この部会は主にPCB処理事業における適正な作業環境を確保するための対策を検討していただくため、JESCOが設置しております。

有識者5名で構成されており、行政関係者もオブザーバーとしてご出席いただきました。



●今回の議事内容

豊田施設では、今年度、小型トランス解体エリアの改造工事を計画しています。この改造は従来は処理が困難であった特殊形状コンデンサ(海外製、寸法外)等をより処理しやすくするために行います。

この改造に伴って、作業手順、作業環境等が変化することから、今回の部会で事前に改造計画の内容をご説明し、必要な対策等についてご意見をいただきました。これらは改造計画に活かして参ります。

4. 産業医による健康講話の実施について

豊田施設では社員の健康管理の一環として、産業医による健康講話を定期的実施しています。本年度第1回目を「めまいについて」と題して6月25日に実施しました。

今回は主にめまいの種類・原因、めまいが起こった場合の対応やその予防法について学びました。めまいのほとんどは良性であるものの、中には脳疾患からくるものや重度の難聴の原因となるめまいがあることが判りました。今後の健康管理に役立てたいと思います。



めまい予防体操体験中

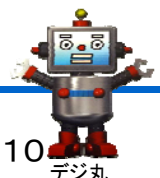


アザランのピーちゃん

問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社(JESCO) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>



デジ丸